

# 北海道通信

昭和26年11月19日第3種郵便物認可  
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

平成29年 第17618号  
2月14日 (火曜日)  
発行所 札幌市中央区北5条西6丁目  
株式会社 北海道通信社  
〒(代) 222-3521 FAX 222-3532  
発行人 松木慶喜  
支社 東京6261・3822 旭川23267 函館27781  
釧路25241 帯広27872 岩見沢25044  
網走23719 小樽250515  
室蘭21735 滝川22716 倶知安2200  
稚内23711 留萌220957 江刺25013  
根室248028 江刺(購読料) 1ヵ月32,400円

21世紀の社会基盤整備と  
次世代に豊かな自然を

## ダイシン設計株式会社

本社 札幌市中央区北5条西6丁目1番地(道通ビル4階)  
電話(011) 222-2325(代) FAX(011) 222-9103

### 各企業等の社会貢献

## ダイシン設計が「ふれあう心のあかり」 地域住民らと交流深め 滑り台併設した雪像制作等で



雪像をバックに住民らと記念撮影

交流の一環として、建物の一部を地域住民が自由に使えるスペースとして無償開放している。

また、NPO法人の活動をサポートしていくため、「ふれあいの家」にも建物を提供し、トイレ等の設備も利用者が使いやすいよう整備した。

同日、開会式で、町内会の折川英輔会長、ふれあいの家の薄葉栄司施設長があいさつし同社の支援とイベント開催への感謝を伝え

【岩見沢】ダイシン設計(札幌、村口明社長)は十一日、同社深川支店川崎勇取締役支店長)で「第七回ふれあう心のあかり2017」を開催した。同社が支援するNPO法人深川市手をつなぐ育成会「深川ディスプレイスふれあいの家」の利用者、支店がある開西町内会の住民らとともに毎年、交流を図るイベントとして行われている。製作した雪像は高さ約五・五メートルの規模で、子どもたちが遊べるよう滑り台も敷地内に併設した。ふれあいの家利用者によるパフォーマンスの披露などもあり、参加者全員で楽しい時間を過ごした。

同社は、深川市内の縫製工場施設を購入し深川支店として活用する一方、地域

2017年(平成29年)2月15日(水曜日)第4358号 (毎週水・土曜日発行)

# 北空知新聞

発行所  
北空知新聞社  
購読のお申込み・ご意見・ご要望は  
〒074-0001  
深川市1条11番16号  
TEL (0164) 23-5509  
FAX (0164) 23-5529  
メールアドレス  
kitasorachi@galaxy.ocn.ne.jp



た。村口社長も開催に当たった。この感謝の言葉を述べ、「きょうはよい天候になってよかった。楽しんでください」とあいさつ。このあいさつと、雪像の前での記念撮影された。

や、ふれあいの家利用者が「よきこいソラン」のパフォーマンスを披露。さらに、宝探しゲーム、キャンドル点火、雪像ライトアップなど様々なイベントが催された。

当日は会場で、同社からおやつやジュースが、地域や住民から甘酒、豚汁、おにぎりが来場者に配られた。

## 住民こそって…「ふれあう心のあかり2017」

深川・開西町 ディプレイスふれあいの家で

そこに招くように開西町内会会員がバケツをさかさまにして雪で型を作り、中身をくり抜いて作ったお手製のアイスクャンドル百個以

同じ場所に集う仲間が一つになつて、楽しいひとときを！

深川ディスプレイスふれあいの家(薄葉栄司施設長)で十一日夕、「ふれあう心のあかり2017」が開かれ、この施設の利用者と職員、開西町内会(折川英輔会長)の住民、運営をサポートするダイシン設計(本社・札幌、村口明社長、深川支店の社員らが互いに協力し、冬の思い出づくりを共有した。寒さから室内にもりやかな冬場に新たな楽しみを見つけてようと、三者が協力し毎年開いている恒例の行事で、今年で七回目。昨年は、季節はずれの大雨で屋外での遊びが中止となったため、満を持して開催となった。会場には、ダイシン設計の社員や施設職員らが雪を集めて作った「きかんしゃトーマス」の大きな雪像が、

ふれあいの家利用者に元氣な「YOSA KOI」の舞い写真が披露された。「雪中宝探し」など「雪の中を歩くと、お待たせ」など、ちかねの豚汁やおにぎり、甘酒などが振る舞われ舌鼓、参加者は寒さも忘れ、笑顔いっぱい楽しんでひとときを過ごしていた。

村口ダイシン設計社長、折川開西町内会長らのあいさつに続き、